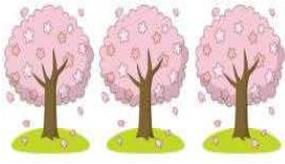


高取小だより

令和6年9月19日



三本桜

第18号

ふかく考える子 あたたかみのある子 がんばりのきく子
9月の目標：伝わるあいさつをしよう

中高一貫校（刈谷高校附属中学校）について

愛知県教育委員会から、入学者選抜に係る日程が以下のように発表されました。6年生の保護者の皆様、出願を考えているようでしたら、担任まで連絡をお願いします。

入学願書等の配付 令和6年11月11日（月）～11月15日（金）
入学願書等の提出
入学願書 令和6年12月2日（月）～12月6日（金）
志願理由書及び通知表の写し 令和7年1月6日（月）～1月10日（金）
1次選抜 令和7年1月11日（土）
1次合格者の発表 令和7年1月15日（水）
2次選抜 令和7年1月18日（土）
合格発表 令和7年1月24日（金）

さて、県のHPに公開された選抜試験のサンプル問題に以下のような問題があります。

みさきさんとちはやさんは、煮物を作るために、さといもを30個用意し、同時に皮をむき始めました。みさきさんが12個、ちはやさんが8個むき終えたのがちょうど同時で、かかった時間は12分でした。

その後も二人はいっしょに皮をむき続け、少しの時間が経過したところで、ちはやさんは煮る準備をするために皮をむくのをやめ、残りのさといもは、みさきさんが一人で皮をむきました。

みさきさんとちはやさんが皮をむき始めてから、みさきさんがむき終わるまでにかかった時間が20分であったとき、みさきさんが一人で皮をむいていた時間を応えなさい。

ただし、さといもの大きさと形は全て同じとし、二人がさといもの皮をむく速さはそれぞれ一定とします。

正答は、5分となります。算数における文章題は、線分図や面積図を描いてじっくり考えれば答えにたどり着くことができますが、高取っ子はこれを苦手とします。問題文で与えられているのは、抽象的な文字や数字ですが、実際は具体的な数量を考える問題です。面積図や線分図を書く目的は、問題文における抽象的な文字や数字を、具体的な数量に変えることにあります。一見よく分からなかった問題も、図を書くことで解き方がすぐに分かることも多いです。目的を実現するためには、問題文の数値をすべて図に書き込むことが重要です。図と向き合うだけで自然に正解にたどり着くことができる力を付けられるように、算数の授業改善を図っていくつもりです。

楽しみです・・・

9月25日(水)は1～4年生が校外学習に、9月29日(日)～30日(月)は6年生が修学旅行に、10月11日(金)～12日(土)は5年生が緑の学校にそれぞれ出かけます。

校外学習のねらいは、秋の自然に親しんだり、集団行動のきまりを守ったり、マナーを守って公共の施設を利用したり、科学的な体験をしたりするなどのねらいをもっています。そのねらい達成に向けて、各学年、各学級でじっくり準備をしているところです。子どもたち自身ががんばりたいことを意識すると、充実した遠足・宿泊行事になります。保護者の皆様の経験を基に、お子さんへアドバイス等をしてくださるとありがたいです。よろしくをお願いします。

学年	行き先
ひかり	とよた科学体験館、刈谷ハイウェイオアシス(豊田市、刈谷市)
1年生	愛知県児童総合センター(長久手市)
2年生	名古屋港水族館(名古屋市)
3年生	名古屋市科学館(名古屋市)
4年生	のんほいパーク(豊橋市)
5年生	旭高原自然の家(豊田市、1泊2日)
6年生	法隆寺、奈良公園、三十三間堂、金閣寺、嵐山(奈良県、京都府、1泊2日)



【昨年の1年生の遠足から】



【昨年の3年生の遠足から】



【昨年の修学旅行から】

日没時刻が早くなりました

秋めいた季節になり、同時に日没時間も早まりました。これからは天気にもよりますが、午後6時くらいにはかなり暗くなります。日没時間が早くなってくると、交通事故が心配されます。

一年のうちで交通事故の発生件数は、秋から年末にかけて多くなる傾向があります。薄暮時間帯の交通死亡事故も多くなり、特に道路横断時の交通事故が増えてきます。道路横断しようとする歩行者からは、走ってきている車ははっきり見えるものの、ドライバーは薄暗くなっているために横断している歩行者を発見するのが遅れてしまうからです。これは、人間の目は明るさの変化に弱いので、まだ日が陰りはじめたばかりの時間というのは、見えているつもりでも目はその明度にまだ慣れていないからなのだそうです。つまり、【よく見えていないことに気付いていない→油断する→事故が起きる】というわけです。秋から冬にかけて、子どもたちの帰宅時間に当たる午後4～5時ごろは、まだ明るさが残っていても、ドライバーからは歩行者がよく見えないのだと、話して聞かせてあげてください。

